



ほろのべ

議会だより

北緯45度のまち

第64号

発行 北海道幌延町議会

編集 議会報発行特別委員会

電話 01632-5-1111

FAX 01632-5-2971



年頭のごあいさつ

幌延町議会議長

野々村 仁

新年明けましておめでとうございます。謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

町民の皆様には、輝かしい新春を迎えたこと、幌延町議会を代表してお喜び申し上げます。又、平素より、議会活動に対しまして、ご指導、ご理解を賜り、心よりお礼を申し上げます。

昨年は統一地方選挙の年であり、我々議員一同、それぞれ当選の栄に浴したところであります。これも偏に、皆様のご支援の賜物と厚くお礼申し上げます。ご承知のことと存じますが、本町議会の定数については10名から9名へと改定され、議会改革の取組がなされました。この際には、皆様から多数のご意見、ご要望を賜りましたことお礼を申し上げます。町議会議員選挙については無投票当選となりましたが、町民皆様の負託に応えるため、改めて身の引き締まる思いで、誠心誠意、粉骨碎身、職責を果たして参る所存でございます。今後とも、町議会活動にご指導、ご鞭撻を賜りますよう謹んでお願ひ申し上げます。

昨年10月に町立診療所がオープンいたしました。新築さ

れた診療所は、従前とは大きく様相を異にしておりますが、本町の医療・高齢者福祉の拠点として、その役割を確実に果たしていくものと考えております。今後の地域医療・福祉サービスの提供が円滑に図られるよう、議会としての責務を果たして参る所存であります。

さて、昨年3月発生の東日本大震災では、多くの方々が犠牲となり、痛恨の極みであります。謹んでご冥福をお祈り申し上げるとともに、被災地の復興が一日も早くと切に願っております。我々議員一同も、及ばずながら支援したいと思っておりますが、新たな視点での防災対策、社会構築が必要と言わざるを得ません。町議会議員も、折に触れて議論して参りたいと考えております。

国内景気は、依然、低迷を続け、我が国は迷走中であります。この情勢において、政府は環太平洋経済連携協定への参加を表明し、重大な影響が懸念されております。

今やオール北海道が反対であり、本町議会も既に反対の意思表示をしております。地域農業、北海道を守るために、声を上げて参る所存であります。町民の皆様には、引き続きご理解をお願い申し上げます。

新年から、厳しい話となりましたが、町民皆様のご多幸とご健勝をお祈り申し上げるとともに、本年が明るく、希望に満ちた年でありますようお祈り申し上げ、新年のご挨拶いたします。

平成24年 元旦

第8回 岩延町議会

11月28日

11月28日臨時会を開会し
報告1件、承認1件、議案1件を原案どおり可決し閉会いたしました。

常任委員会 報告

■総務文教常任委員会 委員会では今、町民から提案のあった住宅取り壊しの案件について調査研究をして

います。

問寒別公営住宅建設工事に係る駐車場の路盤として不十分なため、補強工事が必要となり44万1千円を追加した。

▼承認第1号

平成23年度一般会計補正予算(第3号)町道2路線の道路陥没、沈下による補修1百98万4千円、開進1号線道路横断管改修事業1千8百64万8千円の新規計上。予算総額歳入歳出それぞれ46億1百54万5千円とする。

▼議案第1号

職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例 人事院勧告における官民格差が示されていることから0・23%引き下げとする。50歳代を中心に俸給表を引き下げ、42歳未満の職員は昇給抑制分の一部を回復する。

町内市街地では空き家が目立ち、タバコを投げ入れられて火事になつたり強風で屋根、壁が飛ぶなどの危険が懸念されます。委員会では、空き家数の調査、また町独自で空き家取り壊しに対し助成支援する遠別町を視察してきました。

先の委員会では特に農村部の景観を守る、そして安全

安心のまちづくりのため、「幌延町環境基本条例(仮称)」の制定が執行方針にあります。それらも念頭に置き、全会一致で更に幌延に合つた危険住宅取り壊し制度の制定等に向け、あらゆる方向から調査研究を進めていく事になりました。

産業厚生常任委員会では、中央保育所の老朽化に伴い、町が検討し始めた認定こども園について、中頓別町と雄武町の2ヶ所を視察してきました。

認定こども園とは、幼稚園と保育所の良いところを活かし、就学前児童の教育・保育を一貫的に捉え、一貫保育所を1つに統合して、バランス通所を実施しています。(一部地域3才以上)

雄武町の認定こども園はH22年4月に開所した新しい施設です。町内4つあった保育所を1つに統合して、バ

■産業厚生常任委員会 認定こども園を視察してきました



遠別町視察



雄武町認定こども園



中頓別町認定こども園

学童保育(放課後児童クラブ)を兼ね備えた、子育てに関する総合施設になっているのが特徴でした。

「インタビュー」
Q. 活動について
A. 問寒別生涯学習センターで、月1回の定例会を開き、楽しく歌えるように会員の皆様からアドバイスをもらいながらカラオケの練習を行っています。

忘年会、新年会等も、盛大であります。今年で5回目になります、チャリティーオーナークションを開催していますが、会員以外にも、好評です。その他には、ござくら荘の慰問、文化祭等の参加活動を行っています。

（会長さんから一言）

月の第4金曜日にカラオケの練習をしていますのでカラオケに興味のある方は、気軽に来て、歌って楽しんでもらえればと思います。



「問寒別カラオケ
愛好会」を訪ねて
印子澤芳彦 会長

サークル紹介